

職員表彰者の代表  
八木さおり



ボランティアでは、浅原喜美恵様  
が表彰を受けられました。

平成二十七年十二月十日に「サンライフ御立クリスマス会」を開催致しました。ボランティア及び優秀職員の前山保育園、園児が披露した歌や演奏、利用者様は、笑顔になり、拍手をさされ、可愛らしい園児のふれあい、利用者の感動の余り、名前残惜し、印象的な光景を送りました。



姫路前山保育園

サンライフ御立  
クリスマス会

With all our hearts



職員劇『桃太郎』



姫路前山保育園

新入職員劇は、仕事の間練習を重ねた『桃太郎』が演じられました。笑いと拍手の中、本年度クリスマス会は終わりの運びとなり、少し早いクリスマス会となりました。少分、嬉しく思います。(櫻井)



ささゆり会事業報告

法人本部  
●十二月 第二回監事会  
●七月 第七回理事会・第三回評議員会

サンライフ御立  
●十月 第一回播磨介護技術競技大会  
●十一月 認知症サロン  
●十一月 介護技術講習会  
●十二月 サンライフ御立クリスマス会  
●十二月 入所計画委員会

サンライフひろみね  
●十月 貯水槽点検  
●十二月 エレベーター点検  
●十二月 入所計画委員会

サンライフ土山  
●十月 消防設備の点検・工事  
●十一月 インフルエンザ予防接種  
●十二月 入所計画委員会 消防訓練

サンライフ安室  
●十月 消防設備の点検  
●十一月 消防訓練  
●十二月 サンライフ安室クリスマス会

サンライフ田寺  
●十二月 消防訓練  
●十二月 サンライフ御立西

サンライフ西  
●十一月 消防訓練

クリスマスケーキ作り

フルーツを飾ったり☆  
クリームを塗ったり♪



～餅つき～



★Pick Up★  
●オールジャパンコンテストについて  
●サンライフ御立「クリスマス会」  
●ささゆり会「事業報告」「寄付・ボランティア」等

総合福祉施設 社会福祉法人 ささゆり会

サンライフ御立  
〒670-0072  
姫路市御立東5丁目1番1号  
TEL/079-291-6666 FAX/079-291-6667  
施設長 笹山 周作

サンライフ魚崎  
〒658-0083  
神戸市東灘区魚崎中町4丁目10番50号  
TEL/078-435-6688 FAX/078-435-6689  
施設長 佐藤 光子

ささゆり会 ボランティア

- ◆サンライフ御立  
山根知佳 小堀好記 山内順子 上村元正  
畑 和寛 北村千恵子 渡邊和美 名村敏男  
正司義文 山口郁美 三木章代 竹川好一  
西尾君代 大谷博子 西川明茂 森川友子  
高見和子 林 隆夫 平澤光一 伊勢田富子  
須見幸代
- ◆サンライフ土山  
ライフサポート フレンズ 花の舞 六楽人会  
野に咲く花 前山保育園 ピアノ演奏 浅田隆子  
播州篠笛「風の音」 林田奇術クラブ  
童謡クラブ(沼田輝美) カップボレ
- ◆サンライフ安室  
奥海ちかこ レースライン
- ◆サンライフひろみね  
アコルデオラス 安井太鼓
- ◆サンライフ田寺  
ザ・トンチンカンズ ふるさと 花の舞  
大正琴「さぎそう」 安井太鼓  
ルママン・キャトル 銭太鼓「どじょうの会」  
しらすぎマジック研究会

三輪のぞみ会 井原教室 コスモスの会 姫小町  
平成二十七年十月〜十二月(順不同・敬称略)

ご意見・ご要望ございましたらお気軽にお寄せ下さいませ  
すようよろしくお願い申し上げます。  
年四回発行(五月、八月、十一月、二月)

編集後記

ささゆり第九十二号はいかがでしたでしょうか。  
今回は、サンライフ御立クリスマス会と第六回オールジャ  
パンケアコンテストについてご紹介させていただきました。  
ご意見・ご感想ございましたら、お気軽にお寄せくださ  
いますようお願い申し上げます。

広報委員会より

# 第6回 オールジャパン ケアコンテスト

参加者 天田 真由美 (サンライフ御立)  
木村 友紀 (サンライフひろみね)  
丸尾 太一 (サンライフひろみね)  
三木 香織 (サンライフ土山)

コンテストは、6分野（認知症・食事・入浴・排泄・看取り・口腔ケア）を経験年数による2部門（A部門：5年以上、B部門：5年未満）に分けて行います。全国から120名の選手（介護従事者）が参加し、分野ごとの課題に応じて、日頃の実務で得た知識や技術を披露しております。



## オールジャパンケアコンテストを経て

サンライフ御立「看取り」 天田 真由美



今回、看取り分野で参加させていただきました。アドバイザーの方に本人にどんな最期を迎えたいのかを本人に聞きそれをすぐ実行するためにすぐに動く。また今度では遅いということを何度も言われていました。いつ最期の時が来るのかは分からないのでそれまでに出来ることをして最期の時にこんな最期を迎えられてよかったと思えるような看取りをしていきたいと改めて感じ実行していきたいと感じました。

サンライフひろみね「看取り」 木村 友紀

私は、「看取り」の分野に参加し、自分の経験した「看取り」の対応を取り入れ、実技に臨みました。看取りの場面では、支援者は家族がメインになってくるため、なかなか言えない利用者の本音を家族に伝える橋渡しの役割であると考えております。全体の総評で、「どんな最期を迎えたいのか」と核心をついた質問ができたのが出場者20名中1名だと聞き、避けたり隠して流してしまうことは利用者にとって良くないことだと話されておりました。実演することにより、改めて「看取り」の難しさを認識し、利用者の日々の延長線が納得した最期として迎えられるよう援助していきたいです。



サンライフひろみね「口腔ケア」 丸尾 太一



私は、口腔ケア分野で出場したのですが、利用者が「誤嚥性肺炎」の既往歴で右半身麻痺、上下天然歯、誤嚥のリスクがあるためうがい禁止という設定でした。アドバイザーの方に、口腔ケア時椅子に座って利用者の方の目を見て顔を見てケアをすることが安心感を持っていただけると褒めて頂きました。しかし、実演時利用者の姿勢確認ができなかったりと基本動作が抜けてしまったので、日頃からきちんと意識して、利用者それぞれの症状ごとにきちんと対応できるように介護の知識を身に付けていきたいと感じました。今回の経験を今後活かしていきたいです。

サンライフ土山「食事」 三木 香織

今回、食事分野に参加するにあたり、たくさんの方からアドバイスを頂き、自分が楽しんで介護をし、介護される側も楽しく安心できるようにという心構えで臨みました。選手宣誓役に抜擢されるなど緊張もしましたが、他の参加者の方と話をしたり励ましあったりしながら頑張れたことは良い経験となりました。今後も利用者様の個性を尊重して一人ひとりの自立を支援する介護技術や知識を増やしたいと思います。



## 認知症サロン 平成27年10月10日 開催

地域の方々に認知症の事を知ってもらい、認知症の方とのかかわり方を皆で考えたり困っていることを話し合ったりということに加えて、自身が認知症にならない為にどうしたらよいのかを伝える『認知症サロン』の講師として参加させていただきました。

今回の参加者の方の大半がデイサービスなどに通われている方であつたので、認知症とはどういった病気で、どうすれば認知症になるのを防ぐことができるのかにスポットをあてスライドを見ながら説明を行いました。途中で、脳を活性化することを目的とした手遊びや、寝たきりにならないための体操を取り入れ、盛り上がり頂けたと思います。

普段の仕事で関わる認知症について今回あらためて掘り下げてみて、自分でも勉強になったと思います。

参加者の方からこんなお声を頂きました！

- ・体操が楽しかった
- ・認知症防止の脳トレを家でもしたい等



3階主任 井本 美奈子



## QCサークルの活動について

今回、サンライフ御立でのQCサークルの取り組みは褥瘡の減少を目指し行っています。褥瘡と言ってもあまり馴染みがない言葉ですが、簡単に言うと床ずれのことです。高齢になるとどうしても寝たきりになる方や拘縮してしまう方がおられます。結果、同じ所に圧がかかり皮膚が荒れ利用者様にとって辛く苦しい状況になります。そんな方を少しでもなくしていく様、施設全体で様々な対策を打ち立てております。今回初めて参加させて頂いており、私自身QCを通し新たな知識や方法を身に付けることが出来、大変勉強になります。今後ともメンバーと協力し合い、頑張っていきたいと思っています。(元川)

☆☆3階2班 優秀賞を授与されました☆☆

班内のQCメンバーの指導のもとで、班内一丸となって今回「褥瘡の方を減らす」を目標に頑張ってきました。また、班内で話し合いを実施し、共通認識を持って行って成果がでたと思います。今回はこのような賞を頂きありがとうございました。(河内)



## 魚崎 TOPIX

### 働く職員のメンタルヘルスケア

サンライフ魚崎では、職員のためのメンタルヘルスケアとして、昨年の8月より京都府立医科大学 臨床心理士の永山唯先生にお越しいただいております。

昨年は月1回リラクゼーション講座を開催し、職員一人ひとりがリラクゼーション方法やプライベートの時間の使い方などを紹介し合いました。今年1月からは、コーピングスケールを使い、先生に分析をしていただくことで、個人ごとのコーピング型が分かり、部署ごと、サンライフ魚崎全体での傾向が見えてきます。その結果をこれからの新人育成やバーンアウト予防、職員同士の連携・協働に活かしていきたいと思っております。同時に個人へのカウンセリングも行っております。自分の思いや悩みなどを、専門知識を持った先生に客観的に聞いていただき、アドバイスをもらうことで、解決の糸口になることを期待します。職員一人ひとりが自分を発揮し、生き生き楽しく働けるような職場であるよう、これからもお願いしたいと思います。

